
Idein、JR東日本との協業に向けた検討を開始

AIマイクによる接客品質向上と新たな事業創造を目指す

JR東日本スタートアップ主催イベントにて採択

3年連続国内シェアNo.1のエッジAI開発プラットフォーム「Actcast」（読み：アクトキャスト）を運営するIdein株式会社（読み：イデイン、本社：東京都千代田区、代表取締役：中村 晃一）は、JR東日本スタートアップ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：柴田 裕）が主催する課題先行型マッチングイベント「STARTUP PITCH # 9」において、東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：喜勢 陽一、以下「JR東日本」）モビリティ・サービス部門の新パートナーに採択されました。



「STARTUP PITCH # 9」は、JR東日本グループ各社が課題を提示した上で、その課題解決に繋がる優れたアイデアや技術を持つスタートアップ企業とJR東日本グループ各社を繋ぐマッチングイベントです。今回、JR東日本モビリティ・サービス部門が提示した課題に対してスタートアップ18社がアイデアを提案し、選考の結果、Ideinがパートナーに採択されました。

今後、AIマイクによる接客品質向上と新たな事業創造[※]に向けて、スタートアッププログラムや技術開発などのスキームの中で実証実験などを行っていく予定です。

※ 協業イメージについては今後の検討に応じて変更になる可能性もあります。

「国内シェアNo.1について」

デロイト トーマツ ミック経済研究所 『AI（ディープラーニング）活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望 2024年度版』（<https://mic-r.co.jp/mr/03210/>）「提供形態別市場シェア【SDK/開発プラットフォーム】」の調査結果に基づく。2024年度は見込み値。



Idein Inc.

■Idein株式会社 概要

安価な汎用デバイス上での深層学習推論の高速化を実現した、世界にも類を見ない高い技術力を有するスタートアップです。当該技術を用いたエッジAIによる現場データ収集プラットフォーム「Actcast」を開発し、実用的なAI/IoTシステムを開発・導入・活用する開発者及び事業会社へのサービス提供を行っております。今後もパートナー企業と共に、AI/IoTシステムの普及に貢献してまいります。「実世界のあらゆる情報をソフトウェアで扱えるようにする」をミッションに掲げ、日本国内では経済産業省 J-Startup選定をはじめ、日本経済新聞社 NEXTユニコーン企業にも選ばれています。英Arm社のAI Partnerや、米NVIDIA社のInception Program Partnerに選定されるなど、海外でも高く評価いただいています。



【設立日】 2015年4月7日

【代表者】 代表取締役 中村 晃一

【所在地】 東京都千代田区神田神保町1-4-13

【事業内容】 Actcast事業（エッジAIプラットフォームの開発・運営）、共同研究開発事業（次世代自動車開発での協業等）

コーポレートサイト：<https://www.idein.jp>

本件に関するお問い合わせ

Idein株式会社 広報室 高橋（メールアドレス：pr@idein.jp）